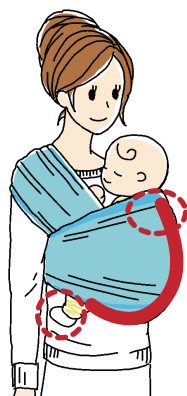
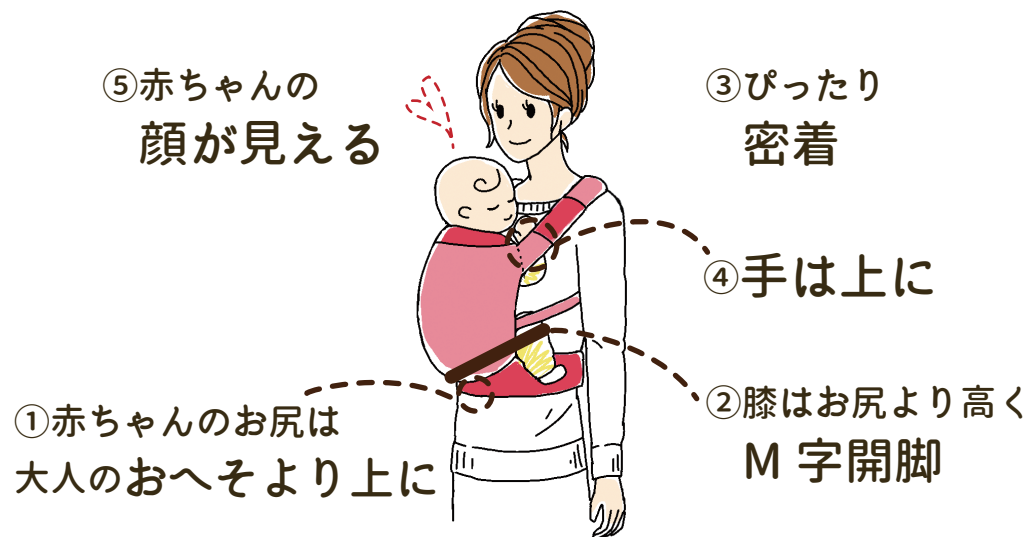


赤ちゃんを抱っこしよう！



☑ 深く座っている？

☑ 背中はやかなカーブ？

☑ 脚が自由に動く？

☑ 手を添えておじぎして...
ぐらつかない？

仕上がり
CHECK!



一般社団法人
日本ベビーウェアリング協会
抱っこやおんぶを通した子育て支援



厚生労働省主催
「すこやか親子 21」
応援メンバー

快適な抱っこと赤ちゃんの発達

① 赤ちゃんのお尻は大人のおへそより高く

高い位置で抱っこすると重心が上がり、大人の負担が減ります。
赤ちゃんの視界も広がります。

② 膝はお尻より高く M 字開脚

「发育性股関節形成不全」の予防になり、赤ちゃんの股関節の健全な発達につながります。大人の身体にしがみつく姿勢です。

③ ぴったり密着！背中カーブは緩やかに

赤ちゃんの背中が丸まりすぎると呼吸がしづらくなります。
背中のカーブは、あごと胸が指2本分ほど離れる程度に。
頭が後ろにガクンと倒れないよう、背当てを首元までしっかりと引き上げて背中を満遍なく支え、ぴったり密着させましょう。

④ 赤ちゃんの手は上に

肺が広がり呼吸がしやすくなります。
手と手、手と口のふれあいは自分の身体への探求にも。
親の身体を両手で押すことで姿勢が安定し、赤ちゃん自身が姿勢をコントロールしやすくなり、腹ばいと同じような効果が得られます。

⑤ 赤ちゃんの顔が見える

口や鼻の周りに呼吸を妨げるものはありませんか？窒息を防ぐために赤ちゃんの顔が常に見えることは大切です。手脚が自由に動く状態かどうかなど、全体的な様子も常に気かけましょう。



ポイントを満たした抱っこで大人も赤ちゃんも快適、安全♪
心身ともに安定した状態でのコミュニケーションで
親子の絆も深まります。

抱っこ紐のサイズが合わないことも...
調整しても快適にならない等、疑問や不安は
抱っこの専門家に相談してみましょう！